

第71回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会

第43回日本医療社会事業学会（東京大会）

開催要綱

【大会概要】

テーマ：社会変動の中の医療ソーシャルワーカー
～支援者としてかけがえのない存在であり続けるために～
会期：2023年6月17日（土）～18日（日）
会場：TFTホール（東京都江東区有明3丁目4-10 TFTビル西館2F）
ハイブリッド開催
大会長：平田和広（上板橋病院／東京都医療ソーシャルワーカー協会会長）
主催：公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会
一般社団法人 東京都医療ソーシャルワーカー協会

【プログラム】

<基調講演> 会場実施＋ライブ配信

医療ソーシャルワーカーに求める2.5人称の視点

講師：柳田 邦男（作家・評論家）

コロナ禍で「社会的距離」「新しい生活様式・日常」がさげばれ、それにより人と人との関わりが急速に薄くなっていく社会を、私たちは経験している。しかし、ソーシャルワーカーは「人との関わり」がなくしては存在し得ない仕事である。講師は、「2.5人称の視点」という表現で、他者の心情を想像して関係性を築くということ等を伝えている。今、このような社会だからこそ、医療ソーシャルワーカーだけでなく医療者にも向けて、患者や家族（＝他者）に寄り添うことの必要性や重要性ということをご講演いただく。

<特別講演1> 録画配信

第8次医療計画～新興感染症対応、在宅医療の体制構築、地域医療構想について～

講師：鷺見 学（厚生労働省医政局地域医療計画課長）

2024年度から29年度までを対象とする「第8次医療計画」では、新興感染症対策を新たな事業として盛り込むが、新興感染症の予防計画を検討する場（厚生科学審議会の部会など）と十分な連携、議論を経て進められている。また、改正医療法を受けた「外来機能報告制度」などをふまえ、外来医療の提供体制、かかりつけ医機能も議論された。この間の議論経過などをふまえ、今後の各地域における医療・介護体制のあり方についてご講演をいただく。

<特別講演2> 会場実施＋ライブ配信

「文化」と「医療福祉」（仮）

講師：郷堀 ヨゼフ（淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所 教授）

多様性の尊重は、現代社会に求められていることの1つである。多様性には、性別や国籍という「属性」や、価値観のような「思考」などがあり、「思考」には、その人がおかれている「文化」が大きな影響を与えてい

る。近年、看取りや終末期（死生観）の意思決定が注目されているが、それも「思考」の1つである。講師は仏教に着目しながら、「文化」と「医療福祉」について研究を行っている。今回は、講師の様々な経験をもとに、医療福祉について講師ならではの視点からご講演いただく。

<教育講演> 会場実施+ライブ配信

「全世代型社会保障構築会議報告書」を複眼的に読む ソーシャルワーカーの役割にも触れながら（仮）

講師：二木 立（日本福祉大学 名誉教授）

「全世代型社会保障構築会議」とは、全世代対応型の持続的な社会保障制度を構築する観点から、社会保障全般の総合的な検討を行うために開催されたものである。令和4年12月に報告書が発表されたが、それには目指すべき社会の将来方向といった基本的な考え方から、各分野における改革の方向性が示されており、そこには医療・介護制度の改革や地域共生社会の実現という項目がある。今回は報告書が示している内容を紐解きながら、医療ソーシャルワーカーに求められる役割についてもご講演いただく。

<講演> 録画配信

「医療基本法の制定運動」の現在地と今後（報告と作戦会議）

講師：漆畑 真人（公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部

権利法をつくる会 担当チーム リーダー）

医療基本法要綱案（医療基本法フォーラム版）の実現に向けてストラテジーを共有していくためにはどうすればよいか。みなさんの提言に期待したい。

「医療基本法の制定運動」は、ソーシャルワーカー業務の「本質」を「医療制度」に位置付けるものです。それは「ソーシャルウェルビーイング」（以下、SWと略します）です。国際的には、SWは、「人権としての健康」の要素であるとされています。しかし、日本では、SWは、医療制度のなかに法律上はいまだに位置付けられていません。そのため、医療現場での意識も、この視点が曖昧なままになっています。

そのような現状に対して、医療現場において患者家族の福祉的ニーズに対応する相談援助サービスを安定的に提供していくためには、SWを位置付けた医療基本法が必要です。これは私たちの業務基盤を整備するものです。

そして、私たちソーシャルワーカーが「本職」であるソーシャルアクションを誠実に実践して、医療基本法で「人権に根ざす『医療制度』」を実現することが、私たちの支援者としての責務であり、かつ私たちが支援者として本当に「かけがいのない存在」となるために不可欠なことではないでしょうか。

「みなさんの提言」については、当日ご案内し、後日、作戦会議（どなたでもご自由に参加できる意見交流会）を開催します。

<講演> 録画配信

救急医療におけるソーシャルワーカーのつどい～救急認定ソーシャルワーカーの意義～

講師：藤見 聡（大阪急性期・総合医療センター ESW・高度救命センター長）

篠原 純史（文京学院大学 准教授）

高橋 紀貴（高崎総合医療センター ESW・患者サポートセンター）

福森 優司（大阪大学医学部附属病院 高度救命センター）

救急領域で働くソーシャルワーカーには、より専門的な知識と技能が求められています。救急医療におけるソーシャルワーカーの意義について、理解を深めたい。医師の立場から講演いただくとともに、救急認定ソーシャルワーカー認定機構の研修実施等の活動や認定状況の報告、現場のESW（救急認定ソーシャルワーカー）から現場からの実践報告を行う。

＜講演＞ 録画配信

かけがえのない存在であり続けるために：アルコール依存症回復者のナラティブからの再考

講師：上堂 蘭 順代（回復者本人）

重富 友美（回復者本人）

助けを求めにくいクライアントの課題の一つであるアルコール依存症の病の体験と回復のナラティブに耳を傾け、支援者としてかけがえのない存在であり続けるため、MSW の存在とは何なのか一緒に考える。

＜シンポジウムⅠ＞ 会場実施＋ライブ配信

プライマリケア医とソーシャルワーカーとの連携から広がる地域実践（共催：日本プライマリ・ケア連合学会）

シンポジスト：西岡 大輔（大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室・日本プライマリ・ケア連合学会）

調整中（医師・日本プライマリ・ケア連合学会）

西出 真悟（オレンジホームケアクリニック・日本医療ソーシャルワーカー協会）

調整中（社会福祉士・日本医療ソーシャルワーカー協会）

プライマリケア医は医療だけでなく家族や地域といったより広い視点から実践をおこなっている。その実践を行う上でソーシャルワーク的な視点やソーシャルワーカーとの共同によってより効果が高まる可能性がある。今回はプライマリ・ケア連合学会と共催し、プライマリケア医とソーシャルワーカーとのシンポジウムを行い、今後の地域医療について検討する。

＜シンポジウムⅡ＞ 会場実施＋ライブ配信

「身寄りがいない人」の入院・入所問題の解決に向けて

シンポジスト：山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授）

社会貢献事業部身元保証人問題チーム代表者

日本弁護士連合会 高齢者障害者委員

地域包括支援センター勤務者

成年後見人関係者

単身世帯及び高齢者のみの世帯が増加する中、医療機関や福祉施設は「身寄りがいない人」の入院・入所への対応に苦慮している。厚生労働省は医療機関や医療関係者が患者に必要な医療を提供できるように、また、患者も身寄りがなくても安心して必要な医療を受けられるように、令和元年5月に「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」を、令和4年には「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインに基づく事例集」を発行している。社会貢献事業部身元保証人問題チームでは、上記ガイドラインの普及と、ガイドラインでは解決しにくい課題の把握を目的として2022年度研修の実施を予定している。把握した課題を先述のガイドラインを作成された研究班の座長である山縣然太朗氏にガイドライン作成の経過のご講演をいただいた上でシンポジウムという形で地域関係機関と共有したいと考える。

＜シンポジウム3＞ 会場実施+ライブ配信

東京都医療ソーシャルワーカー協会独自の取り組み 東京都受託事業としてのグループスーパービジョンについて

シンポジスト：渡部 律子（日本女子大学 名誉教授）

石井三智子（元 武蔵野大学）

佐藤 俊一（NPO 法人スピリチュアルケア研究会ちば 理事長

日本ソーシャルワーク学会 理事）

東京都医療ソーシャルワーカー協会は、東京都からの受託事業として長年グループスーパービジョンを行ってきている。どのようにして東京都からの受託事業としてグループスーパービジョンをうけることになったのか、そして、受講生たちの悩みや葛藤、講師が感じていることはなにかを伝えてもらうことにより、めまぐるしく社会が変わっていく中でも、私たち医療ソーシャルワーカーが変えてはいけなところを理解し、どう活動していけばよいのかを考えるきっかけとしたい。

＜シンポジウム4＞ 録画配信

日本ソーシャルワーカー連盟企画 今、改めてソーシャルワーカーの使命を問う

～変動する社会の中で～

シンポジスト：野口 百香（日本医療ソーシャルワーカー協会 会長）

西島 喜久（日本社会福祉士会 会長）

田村 綾子（日本精神保健福祉士会 会長）

保良 昌徳（日本ソーシャルワーカー協会 会長）

変動する社会の中で、私たち4団体が分野を超えて共有するもの、発信するものとは何かを具体的に考える。

＜ワークショップI＞ 会場実施+ライブ配信

皆で語ろう、東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンの軌跡

講師：笹岡 真弓（日本医療大学 総合福祉学部 教授）

福井 康江（日本医療ソーシャルワーカー協会 石巻 現地責任者）

ファシリテーター：西田知佳子（日本医療ソーシャルワーカー協会 石巻 現地職員）

岩崎 隼生（日本医療ソーシャルワーカー協会 石巻 現地職員）

平野 裕司（文京学院大学 人間学部助手）

語り部（みらいサポート）

当協会が2011年4月から続けている石巻での災害支援活動も最終年度を迎えることになった。この12年間の活動を皆さんと振り返りながら、被災地での支援活動がその後のソーシャルワーカーとしての実践にどのように生かされたのかを確認し、これからの災害支援ソーシャルワークについて考える。

現地開催によるワークショップによる参加型の企画であり、石巻現地の支援活動に赴いてくださった方はもちろん、災害支援活動に興味関心のある方にも是非ご参加いただきたい。

<ワークショップ2> 会場実施+ライブ配信

MSW の子ども・若者支援とは？ヤングケアラーとどうかわるか？

講師：西田知佳子

篠原 純史（文京学院大学 准教授）

ファシリテーター：吉原 千佳（東北大学附属病院）

四ノ宮康子（仙台日赤医療センター）

岩田 直子（筑波大学附属病院）

山口 絵美（聖路加国際病院）

長瀬 彩子（横浜南済生会）

富川由美子（東京女子医大八千代医療センター）

- ・実際に子どもを担当していない SW が子ども分野への関心を持てるようにする。
- ・診療報酬を取るために本来のソーシャルワーク支援ができないと感じている SW と、厳しい状況の中でのソーシャルワークを検討する。
- ・養育支援体制加算と退院支援加算Ⅰの要件を満たすための知識と技術を参加者で深堀する。
- ・ワークショップで得た知見、体験を病院の職場に持ち帰られる内容にする。

<つどい> 会場実施+ライブ配信

身元保証に関する集い

講師：砂原 聡子（東京都立豊島病院 東京都医療ソーシャルワーカー協会理事、「身元保証に関する小委員会」担当）

ファシリテーター：平井 隼人（西東京中央総合病院 東京都医療ソーシャルワーカー協会理事、「身元保証に関する小委員会」委員）

富士川泰裕（康明会病院 東京都医療ソーシャルワーカー協会理事、「身元保証に関する小委員会」委員）

伊藤 正一（勇美記念財団 事務局長 東京都医療ソーシャルワーカー協会監事、「身元保証に関する小委員会」委員）

藤井かおる（京葉病院 東京都医療ソーシャルワーカー協会相談役、「身元保証に関する小委員会」委員）

東京都医療ソーシャルワーカー協会で行っている「身元保証に関する小委員会」の活動及び、2022 年末に協会員・医療機関・老健・医師会・ケアマネジャー団体等に対して実施した調査結果の報告を行う。本シンポジウム終了後、引き続き同会場にてつどいを開催予定。領域別（急性期、回復・慢性期、在宅等）グループによる意見交換を行い、参加者が今後のソーシャルワーク支援に繋げていく一助となることを目的とする。たとえ身寄りがいなくても安心して暮らせるようにするには、どのようなサポートがあれば良いのか、現場の実態を把握し、行政政策と関連した解決策を検討していきたい。本シンポジウム、つどいと連続してご参加いただければ幸いである。

<第 43 回日本医療社会事業学会> 口頭発表＝会場実施＋ライブ配信 質疑応答＝会場実施

<公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会第 13 回社員総会>

<全国会長会> 会場実施＋Zoom ミーティング

プログラムは 2023 年 1 月 23 日現在のものです。
詳細については順次、大会ホームページにてお知らせいたします。
<https://procomu.jp/jaswhs2023/>
なお、配信方法は事情により変更する場合があります。



参加登録のご案内

大会事務局からの委託により、株式会社プロコムインターナショナルが大会に参加される皆様の受付を担当
させていただくことになりました。皆様方のお越しを心よりお待ち申し上げます。

事前参加登録
2023 年 2 月 6 日（月）10:00 ～ 4 月 21 日（金）23:59 まで

通常参加登録
2023 年 5 月 13 日（土）0:00 ～ 6 月 18 日（日）12:00 まで

<https://procomu.jp/jaswhs2023/>
参加登録の申込は、上記の大会ホームページで承ります。

●大会参加登録

（全て税込）

登録 種別	事前参加登録期間（早割）（2/6－4/21）		通常参加登録期間（割引なし）（5/13－6/18）	
			（決済方法に期限あり。注 3 を参照）	
	参加費	現地/WEB 参加	参加費	現地/WEB 参加
会員 （注 1）	10,000 円	選択可 ※ただし、6/2 の 17 時以降は変更 できません。 ※現地の定員に達した場合は期限前 でも WEB 参加となることをご了承 ください。	15,000 円	・ 6/2 の 17 時までは選択可。 ・ それ以降は WEB 参加のみの選択。 ※現地の定員に達した場合は期限前でも WEB 参加となることをご了承ください。
非会員	14,000 円			
学生 （注 2）	3,000 円		3,000 円	

注1：会員は、日本医療ソーシャルワーカー協会、都道府県医療ソーシャルワーカー協会（都道府県医療社会事業協会）、日本社会福祉士会・日本精神保健福祉士協会・日本ソーシャルワーカー協会の会員となります。

注2：学生は、大会会期中に、以下のいずれかに該当している者としてします。

ア 大学・専門学校・短期大学における社会福祉士・精神保健福祉士養成課程に在籍中の者

イ 社会福祉専攻の大学院に在籍中の者

★ただし、大会にて発表・登壇予定の者にあつては、大会抄録集掲載の所属に従って申し込むこと。

※参加登録フォームにて、学生証の画像をアップロードしてください。

注3：銀行振込を御希望の方は、6月12日（月）17時までに入金確認ができるようにお振込みください。

また、6月12日（月）17時以降の参加登録は、クレジットカード決済のみのお取り扱いとなります。ご注意ください。

●交流会費

5,000 円（税込） 開催方法を検討中です。今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止させていただく場合がございます。予めご了承くださいませ。

●申し込みの流れ

【申し込み】

大会ホームページの参加登録フォームに必要事項を入力しお申し込みください。

参加登録フォームにご不明な点がございましたら、

参加登録デスク（registration@online-conference.jp）までご連絡ください。

【受付確認】

参加登録フォームへの入力が完了するとシステムから「【第71回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会】仮登録」という件名の自動返信メールが配信されます。

お申込後 3 日以上経過しても返信がない場合はお手数をお掛けいたしますが参加登録デスク（registration@online-conference.jp）までお問い合わせください。

仮登録メールを受信後、メールに記載しております「本登録はこちら」という青いボタンから本登録へお進みください。ログインページが表示されますので、①ご登録時のメールアドレスと②パスワード（ご登録時にご入力いただきました文字列）にてログインしてください。

【費用の請求・支払】

- ・支払い方法はクレジット決済、銀行振込のいずれかになりますが、振込期限を設けておりますので下記をご確認ください。
- ・ご所属先のご都合により、請求書が必要な方は参加登録デスク（registration@online-conference.jp）までお問い合わせください。
- ・銀行振込をご希望の方は、上述の自動返信メールに記載されている4桁の参加受付番号と氏名（カタカナ）を入金時にご入力ください。6月12日（月）17時までに入金確認ができるようにお振込みください。
- ・複数名分を一緒に振込される場合は、参加登録デスク（registration@online-conference.jp）まで事前に参加者の氏名及びお振込み日とお振込みご名義について、ご連絡をお願いします。
- ・銀行振込の送金手数料はお客様でのご負担となります。ご了承ください。
- ・クレジットカード決済は、本登録完了後、画面にクレジット決済の青いボタンが表示されますので、そちらからお支払いへお進みください。クレジットカードはVISA・MasterCard・AMEXが対象です。

【参加証・参加証明書・領収書について】

- ・参加証・参加証明書・領収書は郵送いたしません。2023年5月下旬頃よりマイページからダウンロードが可能となります。マイページへログイン後、右上に表示される「マイページ」より各自でダウンロード、印刷していただけます。会場受付での密を避けるため、各自印刷した参加証を当日会場へお持ちください。ご協力をお願いいたします。
- ・なお参加証明書・領収書の発行は7月31日（月）までです。以降は発行できなくなりますのでご注意ください。

●抄録集の発送について

■事前参加登録期間（早割）（2/6－4/21）にご登録いただいた方

- ・抄録集は5月下旬頃発送いたします。また、抄録のPDFデータが整い次第、メールで閲覧方法をご案内いたします。

■通常参加登録期間（割引なし）（5/13－6/18）にご登録いただいた方

- ・6月2日の17時までに申込をされた方には、6月12日頃に抄録集を発送いたします。また、抄録のPDFデータが整い次第、メールで閲覧方法をご案内いたします。
- ・6月2日の17時以降にお申込みをされた方は、抄録はPDFで閲覧できるようにメールで閲覧方法をご案内いたしますが、抄録集は下記のようにお渡しいたします。
 - 現地参加をされる場合：抄録集は現地でお渡しいたします。
 - WEB参加をされる場合：抄録集は会期後に発送いたします。

●変更・キャンセルについて

【変更について】

6月2日の17時までは、マイページ内の「登録情報の変更」ページよりご自身で「参加種別」の確認・変更ができます。

ログインをされる際は①ご登録時のメールアドレスと②パスワード（ご登録時にご入力いただきました文字列）にてログインページ（<https://online-conference.jp/jaswhs71/login>）よりログインしてください。

「登録情報の変更」にて変更できない項目を変更・修正されたい場合は、参加登録デスク（registration@online-conference.jp）までご連絡ください。

抄録集発送の都合上、6月2日の17時以降に住所変更をされる方はメールでご連絡ください。

【キャンセルについて】

入金後のキャンセルは、4月21日（金）17時までにご連絡をいただきましたら、ご入金額から1,000円の事務手数料を引いた額を返金いたします。

4月21日（金）17時以降のキャンセルはご返金できかねます。予めご了承ください。

また、虚偽の申請あるいは学会開催中に迷惑行為などが発覚した場合は、参加権利が取り消され、一切返金できませんのでご了承ください。

●お申し込み・お問い合わせ先

株式会社プロコムインターナショナル

第71回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会 参加登録デスク

〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階

TEL：03-5520-8824 FAX：03-5520-8820 E-MAIL：registration@online-conference.jp

ホームページ：<https://procomu.jp/jaswhs2023/>

（営業時間：月～金 9:30～17:30 土日・祝祭日は休業）

*ただし緊急事態宣言などの事情でやむなく営業時間を変更している場合もあるため、詳細はホームページをご参照ください。